



添田小6年
手嶋 花奈

添田小6年
青竹 菜々羽

添田中1年
毛利蘭さく

添田中1
川津命

添田中
村上

平
穂 さん

伝えたいこと

今、みし文二 第41回添田町少年の主張大会

11月22日、少年の主張大会がオーラホールで行われました。添田小学校6年生、添田中学校1年生、2年生から2人ずつ、計6人の代表が自分の考えや思っていることを発表しました。足を骨折し車いすや松葉杖を使っての生活を体験することでバリアフリーの大切さを痛感したこと日頃の生活の中で家族の大切さに気づき自身が家族の力になりたいと強く思ったこと、名前などでからかわられても努力を続けることで認められることを体感したこと、入院のため入学式に出席できず普通に生活することが幸せなことを再確認できたことと、障がいを持つ友だちが特別支援学校へ進学したことをきっかけに偏見について深く考えたことを、自分の言葉で力強く堂々と発表。審査の結果、ハワイでの研修をきっかけに英語を話す仕事に就くという明確な目標ができ、その目標に向かってこれからもチャレンジしていく決意を述べた添田中学校2年生の森山心湧さんが最優秀賞に輝きました。

8 月にハワイでのホームステイと歴史や文化を学ぶ研修に行きました。いつもと違う風景や食べ物、そして言葉。たくさんのこと学び、感じました。ここで、私が特に心に残っていることを発表します。皆さんは「日系人」をご存じですか。日系人とは日本から海外に移住した日本人の子孫のことです。ハワイでは1868年、サトウキビ農園で従事するための移民が始まりでした。彼らの子孫はハワイ社会でも活躍しました。やがて始まった第二次世界大戦では、アメリカ軍に参加し日本と戦いました。彼らはきっと複雑な気持ちだったに違ひありません。パールハーバーでの研修の際、日系人の気持ちに触れ、この戦争に対しての考えも変わりました。私は最初、広島や長崎に原爆が投下され、一方的に相手が悪いと思っていましたが、最初に真珠湾を攻撃したのは日本だと知り、日本は被害国でもあります。日系人も辛かつた戦争だと思います。戦後、日系人は日本の復興を支え、ハワイ・日本の両方に貢献したとも学びました。その一人がホノルルの空港の名前にもなっている「ダニエル・K・イノウエー」さんです。ダニエルさんは、日系アメリカ人としてはじめて米国下院議員と米国上院議員を務めたそうです。2010年には大統領選挙に参戦、第3位になりました。日本人の私も誇らしく思いました。また、ハワイの人々の優しさに触れる機会が多くありました。ハワイ州には「ハワイアンスピリット」という法律があります。思いやり、優しさ、調和、謙虚さ、忍耐などの精神を表しています。なぜ、そのような法律ができるのでしょうか。それは、ハワイの自然環境や歴史的背景が大きく関係しています。豊かな自然と共生しながら互いに協力し、支えながら生き、様々な文化や民族が助け合って多様性を尊重する精神が根付いていたのです。つまり、歴史がハワイの人々の精神を作り上げたのです。日本人の思いやりの心に似ている気がしませんか。ハワイと言えば「アロハ」。そんなイメージを持つている人も多いと思います。

「アロハ」には、挨拶だけではなく思いやり、優しさ、そしてもう一つ、「愛している」という意味があります。「アロハ」と挨拶すると、自分自身が優しさに包まれたような気分になりました。ホームステイ先でも、温かく迎え入れてくださったホストファミリーに本当に感謝しています。自分の英語力を試そうと勇気をもって話しかけたり、一緒に映画を見たり、たくさんの英語を学ぼうと挑戦しました。私の気持ちを理解してくださったかのように、ホストファミリーの皆さんは知っている日本語を話してくれたり、行きたい場所を聞いてくれたりしました。これこそまさにハワイアンスピリットだと感じました。今回の研修で自分の気持ちが伝えられずとても悔しい思いをしましたが、通じないことがわかつたのも研修に参加できたお陰だと思えました。また、話す力だけでなく聞き取る力も同じように大切だと感じました。これからは単語や文法を覚えるのと同じようにリスニングの力もつけていきたいと思います。研修を通して、目標が「英語を話せるようになりたい」という漠然的な思いから「英語を話すことを前提にした仕事に就く」という大きな目標へと変わりました。これからも、自分から様々なることをチャレンジして多くのことを学びたいと思います。

最優秀賞「夢への第一歩」 添田由2年 森山一 心湧さん

※森山さんは添田町代表として2月に福智町で開催予定の田川地区大会に出場します。
※文章は原文のままではなく、主張の主な内容を一部抜粋・要約して掲載しています。了承ください。



展示発表の部は、美術部門で書道や水彩画、はがき絵などが、生活芸能部門では華道や手芸品、銀粘土などが、鑑賞部門では寒蘭が所狭しとオーワホール内を華やかに彩りました。

芸能発表の部は、1日に歌謡曲の発表が行われ、98人の歌い手が、ドレスや着物、スーツなど華やかな衣装で登場し、日頃の練習の成果が披露されました。

生きる秘訣教えます」と題したトークショーも開かれ、添田町や父親、母親との思い出、熊谷さんが楽しく暮らしている理由や元気でいるために行っている習慣などをユーモアを交えて約1時間、楽しく話してくれました。

添田町文化連盟（武直眞弓会長）主催で、絵や書などの美術作品を展示する展示発表の部と、歌謡曲や舞踊、ダンスなどを披露する芸能発表の部で構成される添田町総合文化祭が11月1日、2日の2日間、オーワホールで開催されます。

2日は情熱的な社交ダンスや創作ダンス、優雅に舞うフランダンスや芸術的な舞踊、民踊、バレエなどに加えて、息の合った大正琴やハーモニカの演奏、観客を魅了した三味線やコーラスなどが披露されました。また、町観光大使で俳優

